

設 立 趣 旨 書

特定非営利活動法人 ここから Kit
設立代表者 長谷川 秀美

1 趣 旨

私たちは、子育ての経験者や当事者の視点を生かし、当事者と同じ目線で寄り添いつつ一緒に考えながら子ども支援・親支援をしていく中で子どもも親も共に社会の一員として成長し、いきいきと心豊かに暮らせるまちづくりを考えています。

本来、子育ては母親や父親だけでするものではありません。

しかしながら、現実は無念社会と言われ、地域のつながりが希薄になっています。

親だけでなく、周りがあたたかく見守ることが必要です。見守るとは、見ているだけでなく、いざという時に声をかけたり、手助けすることです。

「地域で子どもの顔がみえるまち」を合言葉に、他人事としてではなく、子どもを地域の財産として地域全体で支えて、子どもたちが、すこやかに地域の中で育まれる地域ぐるみの子育てが必要です。

親にとっても子どもたちにとっても「助けて！」の SOS！が言える関係づくり、場づくりが必要だと強く感じます。

子どもたちは、乳児期・幼児期・思春期を経て大人になっていきます。

子育てで一番大切なことは、子どもの自己肯定感を育むことです。

「命の大切さ」や「自分のことを大切に思う気持ち」そして「他者を思いやる気持ち」を育んでいけるような環境を地域全体で考えていく場づくりや、あそびの広場を通して、多年齢世代の交流と居場所づくり、地域社会活性化に貢献することを、目的として活動しています。

行政による様々な子育て支援が取り組まれている中、行政の役割、市民の役割があることを認識し、私たちはNPO法人ならでわの柔軟で実行性の高い子育て、子育て支援事業をしていけるよう、社会的信用を高めていくことが最適だと考え、法人格取得の申請を決意しました。

2 申 請 に いた る ま で の 経 過

私たちのまちが「子育てしやすいまち」になるようにと、子育てをしてきた当事者だからこそ、同じ目線で見てきた支援のあり方や、ひとりではできないことを仲間とともに企画し仲間づくりの大切さを実感してきました。

これまで、いろんな立場で、親子の安心できる居場所づくり、身近で役立つ子育て情報の提供、親が成長するための学習の機会の実施など、当事者の視点で子育て家庭のニーズに沿った支援を行うと共に、当事者の小さな声を行政に届けることを実践してきました。

・平成23年度より、きしわだプレーパーク（冒険あそび場）を開催。

社会福祉協議会にてボランティアグループクラブ登録。福祉センターにて運営委員会を持ち、子どもたちが、自分の責任で遊べる場所、自分の頭と心で「やってみたい」と思った遊びがなんでもできる現在の「原っぱ」を提案し、プレーパークを開催しています。